

夫の退職は“夫婦と社会の 今と未来”を変えるチャンス

団塊女性には、今とこれからの
夫婦関係を変えるパワーがあります

近年退職を迎え始めた大量の団塊世代。その第2のスタートが話題になる昨今、「ボランティア戦士にならないで」と呼びかける方々があります。そんなグループの代表を務める渡辺美恵さんに、気になるこの言葉の意味を尋ねてみると――。



わたなべ みすゑ
渡辺美恵さん

1969（昭和44）年大学卒業後、出版社に就職。勤務中から夫の専業主婦、義父母・実父母の介護を経験。退職後はフリーランスの編集者・ライターとして活動する傍ら、「NPO法人生活企画ジェフリー」を立ち上げ、現在理事長を務める。

活発にして、 たおやかな団塊女性

「団塊女性の印象は一言でいって、。活発にして、たおやか。年代的に、新憲法に基づく男女平等や権利を学び、自己主張もすっかりもつています。」

でも半面、現実の生活では、「女は家庭を守れ」と親に教えられ、それを放棄してまで、社会に出られない。そんな狭間で生きてきた世代だと思いません」

自身も団塊周辺世代に位置し、「NPO法人生活企画ジェフリー」を主催する渡辺美恵さんは、まず女性に次のようなメッセージを送ります。

「定年退職すると、給料がなくなり、一方で夫婦とも年金を得て、自由になる時間も同じのはず。夫婦が対等になれる機会でしょう？」夫婦でお互い、今まで相手はどういう人だったか、それを自分はどう感じていたか、これから先をどう生きたいのか、見つめ直してほしいんです」

ボランティア戦士に なる前に

渡辺さんは、夫婦関係の再構築なくして、ボランティアや地域活動は成り立たない、とも。そして、近年の、退職したら次はボランティア、というような風潮には疑問を投げかけます。

「企業戦士」として仕事一筋に生きてきたのが団塊男性。その体質のまま舞台だけ移しても、行き着く先は、ボランティア戦士、です。」